京都だより

Kyoto Dayori

●けんちくつれづれ草　第216回
事務局の移転先「修徳学区」とは
●事業案内
令和8年度 青年部会通常総会・懇親会
●お知らせ
一級／二級／木造建築士 定期講習
京都府建築士会 会費「口座振替」のご案内
2026年「建築士の日」
「免状型」一級建築士登録証明書の発行
●新年度名簿（一社）京都府建築士会　令和8・9年度 代議員名簿
●特集
ダンチとフクシのミライをデザインする
8大学連携プロジェクト　その1
①京都大学 ②京都女子大学
●支部だより
旧城下町地区 めざすまちの姿を共有し、我がこととして認識する
「京都亀岡城下町」これからのまちなみ勉強会
●本のストラクチュア 第16回
●作品紹介募集の案内
●表紙のことば『清水寺西門』



May
2026
No.580
5

一般社団法人 京都府建築士会

つれづれ草（けんちく）

第二百十六回

西田　教子

にしだ・のりこ
一級建築士
（一社）京都府建築士会 副会長
西田一級建築士事務所

事務局の移転先「修徳学区」とは

この3月に士会事務局が移転した修徳学区は、私が結婚を機に住み始め（夫と同居の舅が修徳学区の生まれ育ちです。）、20年間子育てをしたまちです。このまちの歴史と士会との繋がりを紹介させていただきます。

修徳学区は、京都市の「田の字地区」の烏丸五条交差点北側に位置し、町家に代表される京都らしい職住共存のまち並みがまだまだ残っている地域です。その歴史は古く、平安時代後期の受領 大江匡房の邸宅「千草殿」や書籍収蔵庫「大江文庫」が置かれていたり、鎌倉初期の歌人 藤原俊成の邸宅で後に朝廷の和歌所となった「新玉津嶋神社」、浄土真宗の開祖 親鸞上人の入滅の地である「光圓寺」等の史跡・旧跡があり、平安時代後期から鎌倉時代初期にかけては都の政治・文化の中心地として栄えました。江戸時代は、祇園祭の寄町として諸国の藩の京屋敷がある地域として賑わい、近代以降は、多数の商店街をはじめ、金融機関・商社の本社機能や呉服問屋、東西本願寺に関係する仏壇仏具・表具・建具・畳などの工房が集積し、商人と職人が多く住む京都市の中心的な商工業地区として発展してきました。

また、この地域に番組小学校として日本で初めての小学校が１８６９（明治2）年に開校し、伊藤博文により「修徳」と命名され、下京第十四番組「修徳」の自治活動が本格的に始まりました。「番組」とは地域住民によって運営される京都の明治初期の伝統的な自治区域であり、小学校運営の他、紛争調停等の権限や戸籍事務や消防署等の役割を担っており、番組小学校はその拠点でした。京都市内には最終的に64の番組が設立され、その後、番組は「学区」と改められました。小学校を運営する学区は１９４１（昭和16）年に廃止されましたが、修徳学区は、「修徳自治連合会」としてその後の呉服業の隆盛と共に修徳小学校を活動の拠点に活発な自治活動を続けることになります。

平成に入って、地域はドーナツ化現象と呉服業の衰退により人口減少が進み、学区民の心の拠り所となっていた修徳小学校は閉校することになりました。しかし、自治連合会はこれをポジティブに捉え、その跡地問題の解決を目指して修徳学区まちづくり委員会を立上げ、２００１（平成13）年の「修徳元学区地区地区計画」の策定でまちのビジョン「社会教育プラザ 花と緑 健康と福祉のまち 修徳」を決定し、その後、２００６（平成18）年「修徳まちづくり憲章第1部」でビジョンをより具体的に明文化しました。跡地問題は、そのビジョンと住民の思いと意見を反映した「修徳福祉ふれあい会館」と「修徳公園」の完成をもって解決しました。・・・と、ここまで長い歴史の中で連綿と続いてきた修徳学区の活動ですが、この後、止まらぬ住民減少とマンションやホテルの増加の中で地域のエンパワーメントをどう維持していくのかという課題に直面し続けることになります。

丁度その頃、私は士会の２００６（平成18）年度建築士の日の事業の副実行委員長を拝命しました。そこで、京都市新景観条例の施行を目前にして「市民目線で景観を考える」ことを事業の主眼とし、プログラムの一つである「子どもまち歩き」への協力を修徳学区にお願いすることにしました。私は学区の母親クラブで活動していましたが、建築士であることや士会員であることを一切学区に言っていなかったので、学区の役員の方々は驚かれるとともに喜んで協力してくださり事業は成功裡に終了しました。これをきっかけにして、修徳学区まちづくり委員会から士会まちづくり委員会へ、課題解決への協力を依頼されることになります。その後は、京都大学の門内研究室の協力を得て、地域文化財の掘り起こしを目指した学区独自の「修徳まちなみ文化財」の取り組みや、憲章をより具体化した「修徳まちづくり憲章第2部」の上梓等、「景観まちづくり」をキーワードにした士会との協働が始まりました。さらに、第2部の「良い（＝美しい）まちなみは良い人間関係（＝コミュニティ）を表象する。」という理念を実現するため考えられた、学区内の建築計画について（建築主・事業者）と（地域住民）（修徳まちづくり委員会）の三者が、外部の専門家（建築士会・大学）や行政のサポートを受けながら話し合う相談会は、先進的な取り組みとしてその後の京都市新景観条例の改正に「地域景観づくり協議会」の「地域景観づくり相談会」として盛り込まれ、２０１２（平成24）年、先斗町と共に地域景観づくり協議会の第一号認定を受け、相談会が義務付けられることになりました。この協議会は今では市内16カ所が認定されています。

このように、歴史ある修徳学区と士会との協働は20年目に入ります。この節目の年の士会事務局の移転先が修徳学区だったということは本当に偶然なのですが、この移転を学区の皆さんは心から喜んでくださっています。このご縁を大切にして、次の20年に向けて地域に根差す建築士として何ができるかを士会として考え、さらなる協働を目指したいと思います。

Event Calendar 2026

6 ← 5

Exhibition
Seminar
Symposium
Event

お知らせ

一級／二級／木造建築士 定期講習

令和８年度　講習会開催

建築士事務所に所属する建築士の方は3年に1度の受講が義務付けられています。
建築士会は定期講習実施協力機関として登録講習機関である（公財）建築技術教育普及センターへ協力し、定期講習の適正な実施運営を行っています。

●実施団体：（一社）京都府建築士会
●受講手数料：12,980円（税込）
※テキスト代、消費税を含む
●受付期間：受付中
※定員になり次第受付終了
●講習日・会場・定員：
① 8月4日（火）京都テルサ
60名【会場コード：5Ｂ－02】
② 9月1日（火）舞鶴21
40名【会場コード：5Ｂ－01】
③ 2027年2月4日（木）
京都テルサ（予定）
60名【会場コード：5Ｂ－03】

申込手続きは原則として「インターネットによる」受付になります。詳細・お申込みについては（一社）京都府建築士会のホームページからご確認ください。

令和8年度 青年部会通常総会･懇親会

青年部会

●日　時　2026年5月15日（金）
午後6時～午後9時
●会　場　東華菜館 本店
●参加費　10,000円
※5月8日（金）以降のキャンセルについては後日請求いたします。
●内　容
［総会次第］
1. 開会
1. 部長挨拶
1. 会長挨拶
1. 議事
1. 閉会

［議事内容］
1. 令和7年度事業報告承認の件
2. 令和7年度収支決算報告承認の件
3. 令和8年度役員（案）承認の件
4. 令和8年度事業計画（案）承認の件
5. 令和8年度予算（案）承認の件

5 May

Sat 9　女性部会全員会議／東本願寺の防災見学会
Mon 11　常任理事会
Fri 15　青年部会通常総会・懇親会
Mon 18　支部長会議／理事会
Tue 19　七彩の会
Wed 20　令和8年度 第1回すべての建築士のための総合研修

6 June

Mon 1　常任理事会
Tue 16　七彩の会
Fri 19　通常総会
Sat 20　2026年「建築士の日」
Sun 21　2026年「建築士の日」
Sat 27　2026年「建築士の日」
Sun 28　2026年「建築士の日」

お知らせ

京都府建築士会 会費「口座振替」のご案内

令和8年度の会費振替日（引き落とし日）は、令和8年7月22日（水）です。前日までに口座の残高の確認をお願いいたします。
※今回の会費引き落としの対象は、令和8年度及び令和8年前期分となります。
「口座振替」手続きがお済みでない方は、「口座振替依頼書」のご提出等の手続きをお願いいたします。

お知らせ

2026年【建築士の日】

詳細は9ページ掲載チラシ、ホームページをご覧ください。

https://www.kyotofu-kenchikushikai.jp/K008/cal0.php

お知らせ

「京都だより」特集まとめ

（一社）京都府建築士会のホームページで、「京都だより」の特集をまとめたPDFをご覧いただけます。

参加申込

電話・FAX、またはホームページからお申し込みください。事業内容の詳細は、ホームページをご確認ください。

（一社）京都府建築士会事務局
TEL075-211-2857　FAX075-255-6077
https://www.kyotofu-kenchikushikai.jp
E-mail:contact@kyoto-kenchikushikai.jp

ダンチとフクシのミライをデザインする
8大学連携プロジェクト　その1

この特集では、各大学が担当した住戸について、3回に分けて紹介します

福祉・介護従事者住宅整備を通じた団地再生の試み

京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授　三浦　研



本プロジェクトは、市営住宅団地の空き住戸を目的外使用により若年の福祉・介護従事者向け住宅として改修するとともに、団地内にコミュニティファームや高齢者の移動を支えるシェアシニアカー・システムを整備する、国交省の補助事業に選定された社会実験的プロジェクトです。高齢化の進む団地において、エッセンシャルワーカーとしての次世代の福祉・介護者向け居住環境を整えると同時に、団地内での新たな交流や活動の場を生み出すことを目的としています。

そのうちの住戸改修部分に、京都市内で建築学科を有する8大学が参加し、オール京都で約1年をかけて住戸改修に取り組みました。対象団地は、西野山団地（昭和44年竣工）の5住戸と醍醐中山団地（昭和50年竣工）の3住戸で、各大学が1住戸を担当します。西野山団地は2K・33㎡の住戸であることから単身者向け住宅として、醍醐中山団地は3DK・52㎡の住戸であることから、2人の介護従事者によるシェアハウスとする計画です。

プロジェクトは2025年2月24日に京都市役所でキックオフを行い、8大学の教員・学生・関係者が一堂に集まりスタート。各大学で3～4月頃から設計に着手し、6月22日にキャンパスプラザ京都で中間報告会を開催。この場で各大学の提案が初めて共有され、その後、秋からの施工に向けて、あらかじめ決められた予算に納まるように詳細図と概算予算をまとめ、8月半ばに国土交通省のモデル事業事務局へ提出。補助金による着工許可を受け、9月中旬以降に工事が始まり、去る2月28日に学生たちの創意工夫が凝らされた個性豊かな住戸のお披露目会を迎えるに至りました。

学生にとって、実社会の制約下でプロジェクトに関わる機会はほとんどありません。限られた時間、予算内で住戸を完成させつつ、オリジナリティのある住戸デザインを実現するため、初めて経験することばかり。材料の選定やディテールの納まり、工務店とのやり取りなど、授業では扱わない実務的な課題は難しく、座学や演習では得られない貴重な学びの機会になりました。特に、京都市内の8大学の建築学科学生が同じテーマで住戸改修に取り組むことで、互いに励みにして、切磋琢磨するよい機会となりました。

一方、工事費の高騰への対応も大きな課題でした。予算を抑えるため、共通化について京都福祉サービス協会と議論を重ね、施工については各研究室のネットワークを通じて工務店を探す形をとり、解体工事はまとめて1社に依頼したり、学生による解体を実施しています。

3月半ばからは、京都福祉サービス協会に就職する若い福祉・介護職の方々が実際に入居される予定です。住戸や団地の中でどのような多世代交流や活動の化学反応が生まれるのか、これからがまさにモデル事業の本番です。

最後に、本事業の実施にあたり、8大学・京都市・住民との多岐にわたる調整を担っていただいた京都福祉サービス協会の皆様、貴重な機会を提供していただいた京都市に、あらためて心より感謝申し上げます。

団地の社宅リノベ ～8大学との共創について

社会福祉法人 京都福祉サービス協会 理事長　宮路　博



このプロジェクトは、本法人が2023年度から関わっている山科区西野山団地での〝地域共生のまちづくり〟活動と、京都の若手福祉人材確保の主旨を合わせて、京都市との連携によってスタートしました。そして、建築士である8大学の先生方や建築を学ぶ学生の皆さんとの連携・協働による取り組みへと発展しました。

建築デザインには普段縁のない福祉法人（職員）との協働は、意思疎通と相互理解から始め、大変「面倒くさい」プロセスであったと思います。これまで経験したことのない課題も生じました。デザインや設計だけでなく、時間やコスト、市営住宅改修上の制約など複雑多岐に渡る課題対応にも追われましたが、共に知恵を出し合い、励まし合いながら何とか乗りきることができました。

通常では選択されない「面倒くさい」プロセスを辿った結果、思わぬアイデアの創出やチームの学びと成長につながり、建築／福祉のキョウカイをも超えての成果＝「共創」につながったと思います。

団地の社宅が完成した今、実際に福祉職員が住み始めることで、団地だけでなく、福祉のイメージや好感度が上がる。福祉に携わる若者も増える。そんな効果が出てくることを期待しています。

8大学連携プロジェクトに寄せて

京都市長　松井孝治



令和8年2月、山科・醍醐地域において「ダンチとフクシのミライを考える～8大学連携プロジェクト～」によるリノベーション住戸が完成いたしました。

このプロジェクトは、高齢化が進む団地を地方再生のモデルにする大きな挑戦です。山科区・西野山団地、伏見区・醍醐中山団地の空き住戸を、市内8大学の建築学科の学生による創意工夫に満ちた介護職員向け住戸としてリノベーション整備していただきました。

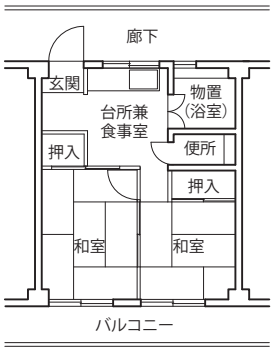
8大学の先生方や学生の皆様には、現場に通う中で地域の現状や福祉職員の働き方、更には市営住宅の特性を丁寧に読み解きながら設計いただき、生活の利便性と魅力あふれる住戸となっています。

学生のまち京都としての強みと、高齢化する団地、そして介護福祉分野での担い手不足といった課題が交ざり合うことで、市営住宅のみならず近年全国で深刻な課題となっている空き家対策にもつながる地方再生のひとつのモデルを提示したものと確信しています。

今後更なる少子高齢化やあらゆる分野での担い手不足が懸念されています。また、空き家など既存のストックを資産として再評価し、有効に活用することは喫緊の課題です。

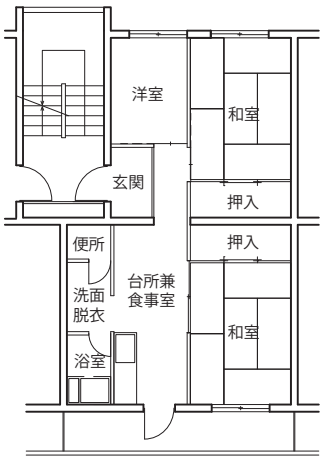
今回のプロジェクトは京都の強みと課題を上手く掛け合わせたことで新たな価値を創出できた好事例と言うことができるでしょう。地域には多彩な技や技能を持つ人々が息づいており、こうした方々の「居場所」と「出番」を創出することで、まちは大きく発展していきます。

京都市といたしましても引き続き、京都に住み、学び、働く価値や値打ちをさらに高める取り組みで、唯一無二の価値を持つ京都のまちづくりを実現してまいります。



改修前住戸平面図


西野山団地



改修前住戸平面図


醍醐中山団地


2025年2月のキックオフミーティングの様子


2025年6月の中間報告会の様子

■参加大学一覧

（西野山団地）
京都市立芸術大学
京都女子大学
京都精華大学
京都大学
京都府立大学

（醍醐中山団地）
京都工芸繊維大学
京都橘大学
京都美術工芸大学



京都大学大学院工学研究科建築学専攻 三浦酒谷研究室

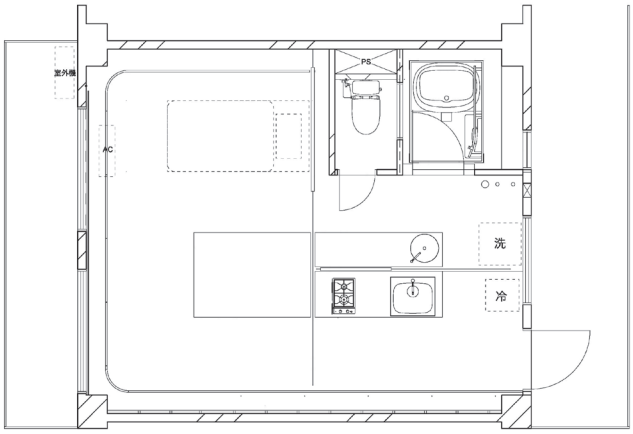
モノが暮らしをつくる家

教授・三浦研、准教授・酒谷粋将
助教・安田渓
修士2回生・山田智也、修士1回生・井上陽平
修士1回生・蓮沼岳人、博士1回生・飯濱由樹
修士1回生・松岡千晴、修士2回生・岡本陸

現代の生活では仕事や家事に追われることが多く、常に整った空間を保つことは容易ではありません。本計画では、そのような現実を前提とし、片付けることを理想とするのではなく、モノを置くこと自体を肯定し、その存在が生活の豊かさへとつながる住まいのあり方を考えました。

空間構成では、暮らしの中でモノが自然に集まり、広がり、動いていくという日常の振る舞いに着目し、「あつまるところ」「ひろがるところ」「うごきだすところ」という三つの仕掛けを計画の骨格としています。住戸の中央には大きな台を設け、キッチンや洗面などの機能を集約するとともに、日常的に使うモノが自然に集まる場をつくりました。また、引っ掛けや棚などの要素を室内に連続させることで、モノが部屋全体へと広がる状態を受け止め、収納と展示が重なり合う空間を実現しています。そして鏡や視線の操作によって空間の見え方に変化を与え、暮らしに応じてモノの位置や関係が更新されていく構成としました。モノは単に整理される対象ではなく、生活の痕跡として空間に現れ、日々の行為を映し出す存在となります。

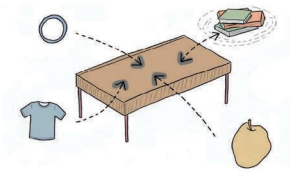
団地という限られた住空間の中で、整然とした理想像を求めるのではなく、現実の暮らしの雑多さを受け入れながら、それを豊かさへと転換することを目指したリノベーションです。



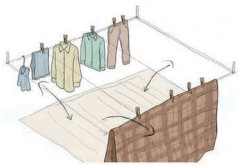
平面図


食卓・キッチン・洗面等を兼ねる大きな台

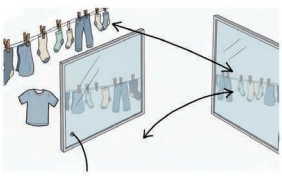
①あつまるところ



②ひろがるところ



③うごきだすところ


3つの計画の仕掛け


鏡に映り込む様々なモノたち


玄関から奥のベランダに視線が抜ける


鏡で写し返される玄関

写真4点　撮影／笹倉洋平



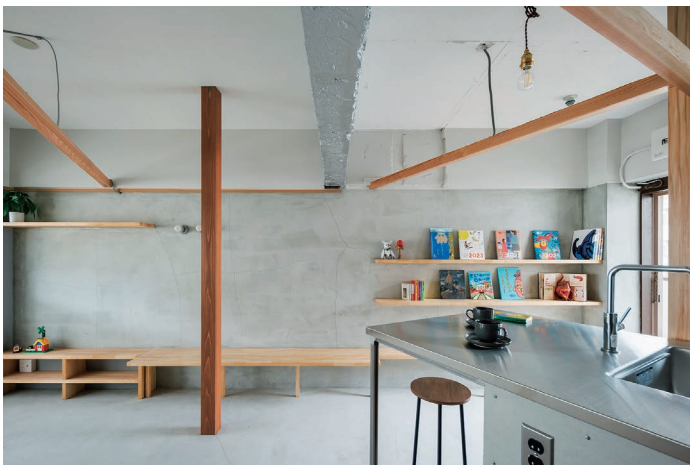
京都女子大学家政学部生活造形学科 是永美樹研究室

ナナメの解放とモクの安堵

准教授・是永美樹
4回生7名
有吉佑加、興 優花、小林未歩、仲尾紘香、
原田菜月、溝渕優香、矢﨑公美子

夜勤もある福祉現場で働く入居者が帰ってきて玄関を開けた時に精神的な解放感を感じてほしい、たまには住民さんと交流できるような仕掛けをどうするか、を中心に検討しました。西野山団地は単身世帯用のため、元の2DKの間仕切りをなくしたワンルーム構成とし、伝統的な民家にあるような気軽に入りやすい土間を採用することは早い段階で決まっていました。既存のダンチにどう挿入するか、いくつもパターンを検討しました。最終的には玄関を入ったときに最大限に広さを感じられるような斜めのラインを採用し、玄関からベランダ側まで広がるヒロマ(土間)と一段上がったイタマのゾーンにゆるやかに分節しました。一方で、団地らしさといえばRCの躯体にはめ込まれた木建具です。粗野な躯体に対し、住空間らしいスケール感と温かみを与える効果を期待して、室全体を分節する斜めラインに伝統的な建築のモジュールで木軸のレイヤーを重ねました。西側壁面全体を「床の間」ととらえ、当初は「床柱(とこばしら)」として想定していた独立柱は、単身の入居者に寄り添う「友柱(ともばしら)」とし、玄関を開けた時に入居者を迎え、ベンチに座った人に寄り添うようなキョリ感になるように現場で位置を決定しました。

既存躯体の力強さを残しつつ、ダンチグリッドからの解放と入居者の精神的な解放、木軸による落ち着きと寄り添う安堵感、大らかさと繊細さの共存する居住空間が完成しました。



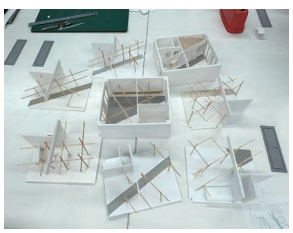
既存RC躯体、木軸、棚板、天板などが等価に目に入る　撮影／笹倉洋平



寝室側からヒロマ(土間)を見渡す
木軸が適度に空間を分節　撮影／笹倉洋平



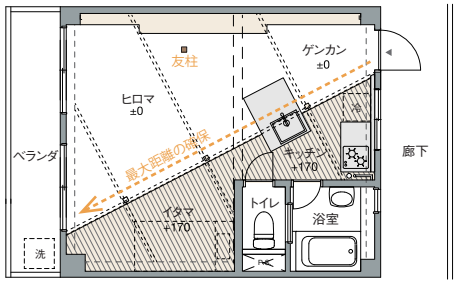
ヒロマからイタマをみる
コーナーにダンチらしさを感じる　撮影／笹倉洋平



エスキス模型



適度な距離感でおしゃべり
撮影／笹倉洋平



平面図
1：150

お知らせ

「免状型」一級建築士登録証明書（事務所等掲示用）の発行について

この証明書は偽造防止等の対策を講じたもので、建築士事務所に掲示するものとして相応しい建築士登録証明書となっております。

ご希望の際は、下記をご確認のうえお手続きください。

●必要書類

(1) 証明願（和文）
(2) 一級建築士免許証（免許証明書）の写し
(3) 本人確認ができる公的な身分証明書（写し）
(4) 郵送申込：
発行手数料1,780円に、
返信用レターパック代600円を加算した
2,380円分の普通為替を同封してください。

●申請先：〒108-0014
東京都港区芝5-26-20　建築会館5F
（公社）日本建築士会連合会　登録部

※郵送期間を含め約1週間かかりますので余裕をもってご依頼ください。



新年度名簿

（一社）京都府建築士会
令和８・９年度 代議員名簿

学校関係
大窪　健之
髙田　光雄

官公署関係
上原　智子
岡田　圭司
佐藤　友彦
瀬野　一樹

民間営繕・その他
金森　保則
上仲　秀明
村田　綾子
村松　徹也
余谷　和則

建築士事務所関係
池内　隆人
岩村　眞樹雄
魚谷　繁礼
江坂　幸典
長　克彦
黒木　要州
高田　実
髙橋　勝
椿森　昌史
遠島　和恵
冨家　裕久
内藤　郁子
中田　哲
西田　教子
能戸　謙介
原　利行
伏木　道雄
藤本　佳美
細見　建司
山本　晶三
山領　正

建設業関係
秋山　哲平
板倉　昇
一志　学
岡本　章良
黒木　宏知
小林　浩之
千田　真由美
竹内　明
橋村　幸司
人見　毅
渡邉　えみ

綾部支部
北原　章裕
村上　正一

福知山支部
立石　一之
細見　昌嗣

舞鶴支部
大滝　雄介
矢谷　明也

宮津支部
山本　哲也
和田　直之

丹後支部
岩田　信一
久保　祐一

南丹支部
永松　輝
八木　光也

宇治支部
野川　正克
橋本　光生
藤森　順

京南支部
清水　毅
吉田　雄一

（五十音順）



支部だより　南丹支部

旧城下町地区 めざすまちの姿を共有し、我がこととして認識する「京都亀岡城下町」これからのまちなみ勉強会

南丹支部　中西義照

本年度、南丹支部では新たな取り組みとして「（仮題）まちなみ勉強会」を都市計画課と共催し、地域の方々と共に学ぶ機会を設けます。対象とするのは、亀岡市の旧城下町に点在する古民家や伝統的建造物です。これらは地域の記憶や風景を支える大切な資源である一方、現代の暮らしにおいては維持や活用の難しさを抱えているのが実情です。特に所有者の高齢化や空き家化の進行により、適切な手入れが行き届かず、結果として解体に至るケースも少なくありません。一方で、地域ではまちづくり憲章が策定されるなど、景観や暮らしを見つめ直そうとする機運も高まりつつあります。

こうした状況に対しては、保存か解体かという二項対立ではなく、「どのように関わり続けるか」という視点が重要であると考えます。本勉強会では、所有者、地域住民、建築士が立場を越えて集い、知識の共有や事例の学習、まち歩きや手入れ体験などの実践的な活動を行います。各地の利活用事例を知ることで、町家の可能性を広げ、住宅に限らない多様な活用の選択肢を捉え直す機会とします。

また、活動を通じて生まれる問いや課題を蓄積し、古民家の利活用や継承に向けた支援のあり方についても検討していきます。あわせて、地元職人とのネットワーク形成や、石や土、古材といった資材の循環を促す仕組みづくりにも取り組みます。建築士としての専門性を活かしながら、人と建物、地域の関係をゆるやかに結び直していく場となることを目指しています。



旧城下町風景

本のストラクチュア ● 第16回

【けんちくワークブック】

本をつくるときには、なるべくたくさんのものを参照したいと思っている。編集者の独りよがりにならないように。これまでにものづくりの世界で発明され、発見されてきた演出や展開、バランスといったものから学びたい。建築はもちろん、展覧会や演劇、漫才からでもいい。

私は学生の頃に自主映画を撮っていたこともあって、迷ったときにはよく映画を観に行く。映画も複雑な編集物の一つだ。しかも鑑賞の流れがあらかじめ決まっており、伝える側が現場にいないという点で、本に近い形式だといえる。カットのタイミング、シーンの尺の配分、物語の展開。つい分析しながら見てしまうのは悲しい性だが、いい映画を観ていると、イメージがふと湧いてくるものだ。

しかしやはり、一番参考になるのは本だろう。なかでもよく開く一冊に、西沢立衛の『けんちくワークブック』がある。

この本の魅力は粗さにある。自由さといってもいい。本の世界特有のルールやノリ、定石といったものにまったく囚われていない。正直、紙面構成上のおさまりには気になるところもある。しかしその違和感すらこの本のアイデンティティに含まれている。

「けんちく」を謳いながら、CADで書かれたような線が一本も出てこない。美しい手描きスケッチの類ともまた違う。荒削りの色鉛筆で描いたような線が紙面のうえで踊っている。まるで子どもが描いたようなのびのびとした筆致を眺めていると、つい自分も手を動かしたくなる。ワークの手順を指示する言葉よりも、紙面全体として語りかけてくる。「やってごらん」と。

だからこの本は、著者と読者のあいだにあるような感じがする。まだ完結していない。開かれていて、見る人によって思い描く景色がまったくちがう。創造的なリレーが本のなかで行われているのだ。

映画でも緻密に構築され、一分一秒を無駄にしないハリウッド作品は、エンタメとしては極地だけれど、ただ圧倒されるばかりでは、鑑賞者は見たもの以上を想像できない。荒くてもいい。下手でもいい。いい加減ということではなく、クリアな意図のまわりに十分な余地がある。そういう感覚を、私も本に込めたい。

（西尾圭悟　編集者／hoka books 店主）



西沢立衛『けんちくワークブック』
平凡社、2013

募　集

「京都だより」作品紹介ギャラリー

あなたの作品を広く紙面で紹介してみませんか?

本会では会誌「京都だより」に、会員の作品紹介ページを設けています。
建築、インテリア、ランドスケープなど、みなさまの個性あふれる作品をお待ちしております。

掲載に関して

- ●募集対象は（一社）京都府建築士会会員が設計もしくは施工に携わったものとします。
- ●掲載料は無料ですが、広報編集委員会にて選考の上、掲載させていただきます。応募作品多数の場合等は、掲載できないこともありますのでご了承ください。
- ●写真の撮影者名は必ず付記願います。写真に著作権等が生ずる場合は、応募者にて対応願います。
- ●掲載頁数は原則として１頁とします。
- ●建物の特徴や特殊な事柄については簡単な補足説明をお願いすることがあります。
- ●作品の掲載順及び紙面レイアウトを含む全体の構成は広報編集委員会にて担当します。
- ●概要及び説明文はメールで送付願います。

提出資料

- ●写　真／外観、内観等 3、4枚。
  画像解像度400dpi以上推奨。
  デジカメ撮影の場合は1メガバイト以上を目安。
  プリントの場合は2Lサイズ程度。
- ●図　面／平面等 1、2枚。
  画像解像度1200dpi以上推奨。
- ●概　要／作品名称、所在地、建築主、設計者、施工者、用途、工期、建築面積、延床面積、構造規模。
- ●説明文／作品に関する考え方を400字以内にまとめてください。

原稿期日及び送付先

- ●期　日／毎月25日
- ●送付先／(一社)京都府建築士会事務局
  「京都だより 作品紹介」係



表紙のことば

清水寺西門

戸田建設株式会社　建築設計統轄部　**林　伸昭**

清水寺のアプローチには仁王門と西門（さいもん）の二つの門が並ぶ。通常の参拝では仁王門をくぐり舞台のある本堂へ向かうので、一般に西門の存在は希薄である。スケッチはその西門をアプローチ側から見上げて三重塔を背景に描いているが、実はスケッチの背面となる三重塔側に軒唐破風が設けられ、その正面性を暗示している。

清水寺は平安後期以降「観音信仰」とともに「浄土信仰」の拠点ともなったという。西門は沈みゆく夕日に向かって極楽浄土を祈る「日想観（にっそうかん）」の修業の場とされていたといい、西門の背後には京都市街が一望できる斜面が広がる。

西門の創建は確かな記録がないようだが、江戸初期の１６２９（寛永６）年の大火で消失し、徳川家光により１６３１（寛永８）年に再建された。桃山時代の華やかな様式を色濃く残しており国の重要文化財に指定されている。

左右の幅が約８・６メートル、奥行が約３・９メートルの三間一戸の八脚門で正面に向拝をつけ、七段の木階を設け、床と共に高欄をめぐらし、単層、檜皮葺き、切妻造の構造で、軒唐破風を架ける寺院建築としては大変珍しい構造となっている。軒は二重繁垂木、和様一手先出組み、左右の脇間に鎌倉様式の写実性と量感豊かな持国天と増長天の立像を奉祀する。この二天は方位の守護神ではなく、安定と成長の守護であり、浄土へ向かう変容の守護とのことである。

編集後記

私ごとですが、年始に家族に不幸があり、しばらくバタバタで関係者の方にはご迷惑をおかけしました。
さて、不幸があると短時間に様々な判断をしなければならず、なかなかハードです。
最初に葬儀関連、次に役所関連、さらに公共インフラ等の支払い関連、最後に相続と続き、手続きと判断を期限付きで大量に求められます。悲しんでいる間が無いとはこのことです。
葬儀関連は判断の連続で、最初の関門です。役所や支払い関連は手続きなので判断はいらないですが、書類探しと届け先が多岐にわたり事務作業が大変です。最後の相続が最難関で、分割協議問題を抱えている方はお気の毒としかいいようがないです。
幸い我が家はここは問題なかったのですが、家が問題で、路地奥で接道が微妙な状況。いったいいつ建ったのかもわからず、昨年の法改正で確認申請の厳格化が、いま我が家の前に立ちふさがっています。まあ幸い業界関係の方々の協力によりなんとかなりそうな方向にいきつつありますが、こんなの素人では無理です。
人に迷惑をかけないために元気なうちに自分自身の整理をしておかなければと思った今日この頃です。

（沼田俊之）

発行人●山領　正　編集委員長●黒木要州　編集委員●徳光都妃子／西田教子／沼田俊之／橋本光生／堀尾智子／松田容子／森重幸子／矢谷明也
デザイン●中　喜美　印刷●サンケイデザイン㈱

2026年　「建築士の日」

（一社）京都府建築士会では７月１日は「建築士の日」のイベントを各地で開催いたします。
広く参加者を募っておりますので是非ともご参加ください。
詳しくはご希望のコース横の QR コードより詳細をご確認ください。

体 験

バリアフリー車いす体験会



6/20(土)＊下京修徳ふれあい福祉会館

＊10:30~17:00＊参加費：無料＊小学生対象（親子でも可）

車いすでの視線や動作、体験してみませんか。

まち歩き

歴史的な建物をみてあるき

6/20(土)＊西本願寺集合

＊13:00~16:30＊参加費：2,000 円

西本願寺界隈から龍谷大学大宮校舎～島原・輪違屋など見て歩きます。最後は角家内部見学を予定しています。



まち歩き

丹後の文化と歴史散歩

6/27(土)＊丹後郷土資料館集合

＊9:00~12:00＊参加費：1,000 円

片山古墳、産土山古墳など竹野周辺を地元愛いっぱいのガイドと巡ります。



講演・まち歩き

京都花街の都市史・建築史Ⅱ

6/27(土)＊京都美術工芸大学

＊13:00~16:00＊参加費：1,500 円（学生無料）

建築やまちなみについての講演の後、古地図や古写真を見比べながら花街の歴史をたどります。



見学・まち歩き

福知山お寺めぐり



6/27(土)＊福知山市役所集合

＊9:30~12:00 ＊参加費：無料

旧地域の歴史資産としての建築の魅力を再確認いただきます。

講 演

旧三上家住宅で歴史ロマンを歩く

7/11(土)＊宮津市旧三上家住宅

＊16:00~17:00 ＊参加費：無料
（入館料 300 円がかかります）

旧三上家の建物にかかわってきた人物に焦点をあて、人物たちや時代背景を通して、建物の役割や価値などをわかりやすく解説します。



体 験

未来のまちをつくろう

6/20(土)＊下京修徳ふれあい福祉会館

＊14:00~16:00＊参加費：無料＊小学生対象（親子でも可）

あったらいいな。のアイデアをいっぱい出して、段ボール箱をならべて、みんなでいっしょに未来のまちをつくってみよう。



まち歩き

楽々荘と西町北町界隈・明治の邸宅と城下町西門の記憶を訪ねる

6/21(日)＊がんこ亀岡楽々荘 駐車場集合

＊13:30~16:00＊参加費：1,000 円

古地図をもとにまちなみの違いを見ながら歩きます。



見学会

煉瓦倉庫保存修理工事



6/27(土)＊舞鶴赤レンガ倉庫修理現場

＊10:00~12:00＊参加費：無料

修理工事現場で構造補強についての大切さにも触れながら、煉瓦建築の魅力を探ります。

講演・見学

大本長生殿に学ぶ社寺建築の精神

6/27(土)＊綾部市大本苑内

＊13:30~15:00＊参加費：無料

七大本・長生殿を主に苑内の見学と寺社建築の構想・思想・技術的愛敬を学びます。



まち歩き

建築士と巡る 特別な宇治建築探訪

6/28(日)＊京阪宇治駅集合

＊9:30~12:00＊参加費：1,000 円

世界遺産・宇治上神社、宇治市源氏物語ミュージアムなども巡りながらのまち歩きを建築士目線で解説します。



一般社団法人　京都府建築士会
〒600-8436　京都市下京区室町通松原下ル元両替町 254
TEL:075-211-2857　FAX:075-255-6077
Mail:contact@kyoto-kenchikushikai.jp

【後援】京都府・京都市
【共催】京都市、亀岡市、宮津市教育委員会、舞鶴市近代化遺産保存センター

京都だより KYOTODAYORI 2026年5月1日発行 通巻580号 毎月1日発行 発行所：一般社団法人 京都府建築士会 〒600-8436 京都市下京区堂町通松原下ル元両替町254 TEL 075-211-2857 FAX 075-255-6077 定価800円(税込) 送料180円別



重要なのは、「近年」の合格実績!

1級建築士 合格実績 No.1

平成28～令和7年度 1級建築士 学科・設計製図試験
全国ストレート 合格者占有率 10年間
全国ストレート合格者合計14,345名中/当学院受講生8,493名
59.2%

平成28～令和7年度 1級建築士 設計製図試験
全国 合格者占有率 10年間
全国合格者合計35,869名中/当学院受講生18,878名
52.6%

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※全国ストレート合格者数・全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。(令和7年12月24日現在)

総合資格学院 京都校
京都府京都市下京区四条通西洞院東入郭巨山町18番地 ヒラオカビル 6F
TEL:075-253-0481
スクールサイト www.shikaku.co.jp コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp
X ⇒「@shikaku_sogo」LINE ⇒「総合資格学院」Instagram ⇒「sogoshikaku_official」

開講講座 1級・2級 建築士 | 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 | 建築設備士 | 1級 管工事施工管理技士 | 1級・2級 建築施工管理技士 | 1級・2級 土木施工管理技士 | 宅地建物取引士 | インテリアコーディネーター | 賃貸不動産経営管理士

● 京都府知事指定 民間確認検査機関 ● 近畿地方整備局長登録 住宅性能評価機関
● 近畿地方整備局長登録 登録建築物エネルギー消費性能判定機関

KYOTO ORGANIZATION OF CONFIRMATION & INSPECTION
株式会社 京都確認検査機構

Kind(親切) Open(明快) Certain(確実) Immediate(迅速)

■業務内容:
- 建築確認(事前審査有)・中間検査・完了検査
- 住宅性能評価《設計評価・建設評価》
- 住宅金融支援機構《フラット35(適合証明業務)》
- 住宅瑕疵担保保険取扱《まもりすまい・JIO・あんしん保険》
- 長期優良住宅建築計画(技術的審査)
- 低炭素建築物新築等計画(技術的審査)
- 建築物エネルギー消費性能確保計画(省エネ適合性判定)

■業務区域: 京都府全域

■手数料: 当社ホームページをご覧いただくか、窓口で配布の料金表をご覧ください。
- 納入は当社受付窓口または銀行振込で。

■営業時間・休業日
- 営業時間 午前9:00～午後5:30
- 休 業 日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・お盆
(年末年始・お盆については事前にホームページなどでお知らせいたします)

～ご利用をお待ちしております～

契約駐車場(新椹木町沿コインパーキング・市営御池地下駐車場)については駐車券を配布しております。



〒604-0931
京都市中京区二条通寺町東入榎木町82
宮崎ビル4階
●ホームページ http://koci.co.jp/
●Eメール sinsa@koci.co.jp

TEL:075-256-8980 審査部
075-256-8981 検査部
075-256-8982 構造部
075-256-8984 評価部
FAX:075-256-8985 審査・構造部
075-256-8986 検査・評価部